

## 当社のスクリーン用透明フィルムがプロジェクションマッピングイベント「City Light Fantasia by NAKED」に採用

記者各位

当社(社長:杉森 務)が開発中のスクリーン用透明フィルムが、株式会社ネイキッド殿(社長:村松 亮太郎氏)等が企画・運営するプロジェクションマッピングイベント「City Light Fantasia by NAKED」(以下、CLF)に採用されましたので、お知らせいたします。当イベントは、あべのハルカス(開催中)や名古屋テレビ塔(7月18日より開催)といった日本全国の高層タワー・展望台において開催されます※1。

「CLF」は、街の夜景と3Dプロジェクションマッピング※2を始めとする映像演出とを融合した新感覚エンタテイメントイベントです。「CLF」では、日本初の試みとして、展望台のガラス窓に3D映像を投影し、当社のスクリーン用透明フィルムは、ガラス窓をスクリーンに変える技術として使用されます。

スクリーン用透明フィルムは、当社のナノテクノロジーを活用し、本年度下期の販売に向け開発中の製品です。従来のスクリーン用透明フィルムの透明度は70%程度ですが、当社品は透明度90%を有し、ほぼ無色透明です。そのため、透明なガラスやアクリル板に貼り付けても、その透明性を損ないません。この特長を活かし、プロジェクションマッピング等の空間演出の他、デジタルサイネージ※3、自動車用ヘッドアップディスプレイ※4等への用途拡大を目指します。

当社は、JXグループが経営理念として掲げる行動指針「信頼の商品・サービス」のもと、スクリーン用透明フィルムを始めとする高機能素材の開発・普及を通じて、お客様の多様なニーズに対応してまいります。

※1: イベントの開催場所・期間・時間等の詳細につきましては、「CLF」公式ホームページ

☞ <http://clf.naked-inc.com/> をご参照ください。

※2: プロジェクターによる映像データを、物体や建築物などに立体面の形状にあわせて投影することで、特殊な視覚効果を生み出す映像表現技術。

※3: ディスプレイやプロジェクターといった映像表示機器と、コンテンツ配信システムとを組み合わせ、広告・販促・インフォメーションツール。「電子看板」とも呼ばれる。公共交通機関の運行情報表示等として当初利用されていたが、近年では商業施設や一般店舗等へ利用分野が拡大している。

※4: 自動車のフロントガラス等に計器類やナビゲーション情報を投影して、運転者の視野に情報を直接映し出す装置。情報確認のために運転者が視点を大きく動かす必要がなくなり、事故の可能性を低減させる安全技術として期待されている。

以上

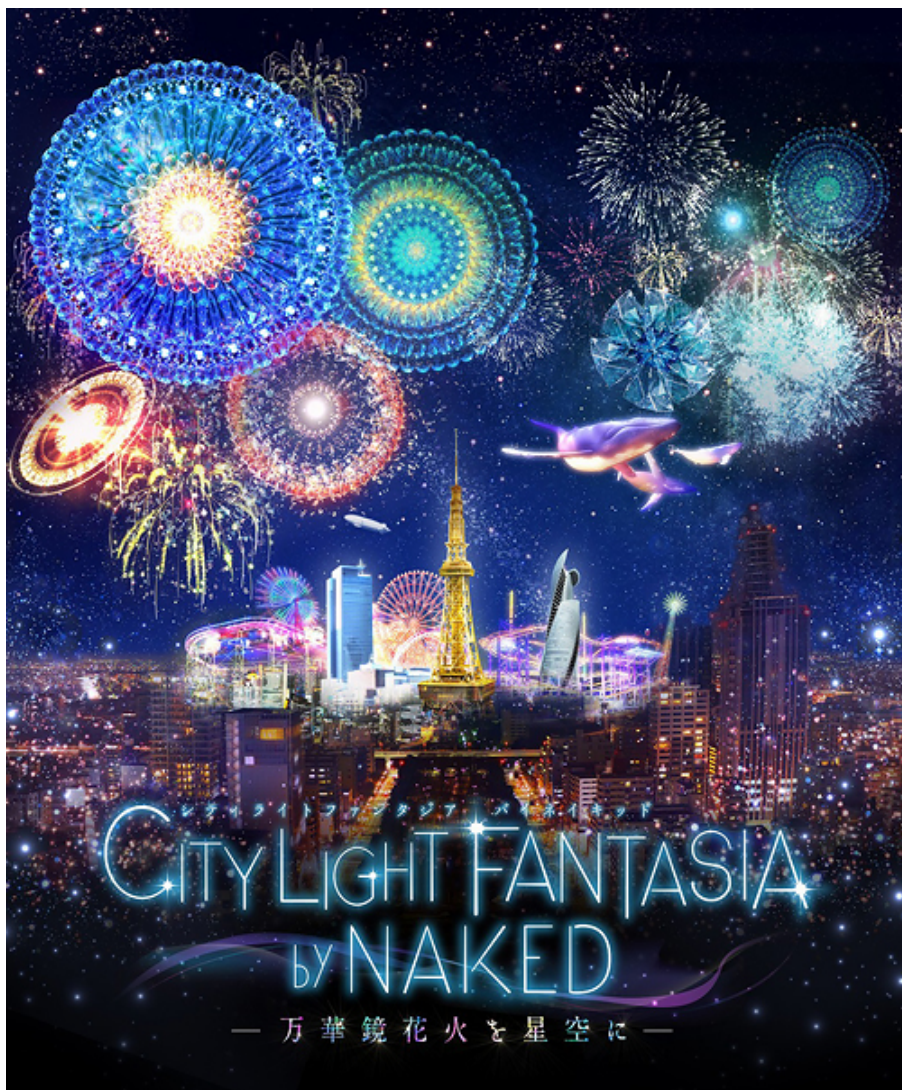
写真1: フィルムに映像を投射した様子



写真2: フィルムロール外観



写真3: City Light Fantasia by NAKEDヴァイジュアル



● 別添資料

📄 「スクリーン用透明フィルム」パンフレット (PDF:241.4 KB/2ページ)